

時代の変化に対応した大学実務教育

～大学から社会へ、学びをつなげていくために～

本協会は発足時より、社会で活躍できる実務の素養と人間力を備えた人材の育成に取り組み、秘書教育課程、情報処理教育課程、ビジネス実務教育課程などを開発してきました。発足当時は、大学・短期大学での実務教育に関する議論は話題にもならない状況でしたが、発足から45年を経た現在、実務能力を育成する教育機能が大学・短期大学に強く求められるようになってきました。たとえば、2019年度に開設される専門職大学・専門職短期大学はその時代の要請の反映といえるでしょう。本協会は、その社会のニーズを先取りする形で大学での実務教育の推進を進めてきました。今後も、実務教育の資格授与、実務教育研究の推進、大学・短期大学における実務教育の在り方の追求といった発足時より続く方針を堅持し、時代の要請に応じた制度改革を進めていきます。

実務教育改革の推進と質保証構築に向けて

—全国大学実務教育協会の取組—

実務資格改革の推進

本協会では、大学での実務教育の推進を通じて、学生が大学で学んできた専門分野の知識をビジネスの現場で活用していく視点を育成するとともに、社会に出た後も継続して「学ぶ力」(学修継続力)を持ち続けることを目指してきました。そのため、カリキュラム改革と、質保証のための評価方式の導入を推進しています。2020年度以降は、**専門分野に特化したスペシャリスト志向の資格改革を進めています**が、本資料でご紹介する資格はその一部です。

48年の歴史、64万件の実績

大学での実務教育の「質」の充実に向け、本協会は、**昭和48年(1973年)の設立から48年間**取り組み続けています。

これまでに発行した資格は**64万件**におよびますが、当初から変わらぬ協会のスタンスとして、知識・技能を学ぶだけでなく、大学の教養教育、基礎教育、専門教育と連携・調和させていくことを重視してきました。**大学での学びと実務を連携することで培われる総合的な実務実践力**は、変化し続ける社会のなかで「生き抜く力」となり、あらゆる職業での活躍や多様な働き方の基盤となるはず です。

質保証に向けた取組

本協会では、平成30(2018)年度より**学修成果を可視化できる到達目標達成度評価方式**の各大学への導入を推進し、全大学での実現を目指しています。実務教育を通じた大学教育の質保証の向上に資するために、本協会は今後さらなる取組みを進めてまいります。

本協会のスペシャリスト志向の実務資格例

—専門分野に特化した実務実践力の修得をめざす—

ウェブデザイン実務士

インターネット技術に関する一定の専門知識と技能を有し、ウェブページの制作や情報収集、外注管理ができるスペシャリストへの資格

- デザイン、プログラミング、素材作成・活用などの手法
- ウェブページの制作や意匠計画策定のための基礎知識・専門知識
- ウェブページの管理運営のために必要な技能

こども音楽療育士

子どもたちへの発達的な援助を行うための音楽療育に関する専門知識に加え、その援助に必要な技術と実践能力を備えた人材への資格

【資格教育課程で育成する能力(例)】

- 子どもたちの心身および音楽的発達に関する基礎知識・専門知識
- 音楽療育の基礎知識・専門知識を活かす実践能力
- さまざまな楽器の演奏技術

園芸療法士

園芸を通じて心身に何らかの障がいを抱えた方の機能回復や症状の改善を援助し、豊かな生活の質(QOL)をもたらす人材への資格

- 心・身体・園芸の間の相互関係に関する視点と、実践能力
- 園芸にもちいる植物や、土壌づくり・繁殖・収穫に関する基礎知識・専門知識(園芸学の知識)
- 園芸機材の取り扱い方法

※本協会では、資格ごとに定められた教育課程を大学・短大で修了した者に上記を含む23の実務資格を認定しています。

それぞれの資格課程では、専門的な知識・技能と、大学の「学び」を連携させることで、総合的な実務実践力と学修継続力を培っていきます。